人四尺パカリ

舵鳥ナルベン

レ唐緒三多 本草口俗名駒哥為信謂インコハ唐音ナ

是了切 四内二非十二 放切テモ害

銭内及構磨るアリ大水の歌アリ

佛法僧上云島太木二十七慈鎮歌ニヨメリ レギトスアヤマレリ 形狀相似俱黑色俱無班者為獨本編三獨艺亦上 本草鶴八衛長上云鳴三八不言衛長然則鷃ハボトレ

甚長シ其大八場ヨリ大ナリ頭少長シ翅鳩ヨリ短シ

味美レ

ギニ非ズはボトレギモ鷸ノ類ナルベン時珍云葉

小バン背八黒褐色腹八淡黑色觜ノ舞黄三其本

及額上紅心腹胸、毛八背ノ毛ョリ淡黑ナリ翅緑ナ

り尾、裏白ク郷ノ節紅シ脚及八青色水カキナシ指

起人海二七

ヨ人リ

ナンサムニ足ヲ左右ニチガヘテ走ル人ノサム事コレニが タルラチドリ足ト云 本書三載タリ雀ョリ大也足八前三指後指

ヤ子八鶴 大か青かギ程アリ黒鶴二似タリ日本三無 之異邦ヨリ來ル事了り

朝鮮ヅル 黒ク小ナル也

鼠為酸其穴人地三四尺鼠在內鳥在外孔氏書 總鳥出鳥鼠同穴山〇爾雅日其島為總其

N. N. State of St. Line

傳云共為鳩同穴而處潛確

詳曹植惡島論云鵙聲嗅與故以名之感陰氣而 動残害之鳥」也○モズハハ月陰東三感シテ鴻 惡聲 本草綱目伯勞九説ラ載タリ何しノ島ニヤ末

~鳥也且小鳥ラ残害ス

報春鳥 顧者山茶記云山中有鳥如鴝鴿忍蒼每

至正二月作聲云春起也至三四月云春去也或 日報春ハウグイス成ペント云篇信日此能可疑り

クイスハ別三是一鳥

異名記云登州海岸有鳥如鴨名海東青擊物最便

黑其頭有如環白毛翅短上在江户 按三是サンバナルペンサンバハ鴨ノ如ニンテ小也其性化 在海其大八比常雁微小也色如灰色味及足

水見アラクビス見ヨリ小ナル、觜ハ短小ニンテ属が ノー腹皆白シ種ノ下ノ腹ノ方細文アリ。尾短シテ漆 黑ク兩ノ翅黒クウラ白ン翅ノ末黒ク端白シクビ 如じ頭三勝アル頭白ク頭ノ雨ワキ黒ク光アリ背

モロシノ廣西省ノ土産ノ鳥也毛ノ色青緑地 No. to all the second

無也足ハ水カキアリ。鬼ノ如ン味不美

三光鳥 雌雄異り雄八形鳥源ノ如ノ大ガモズ程ア 腹ノ毛淡黑色尾ノハンセバク尾ノ長一尺許雌八頭般 頭、波黑色目ノフチ及情ノキワ都色アリ翼胸尾 - 東ニッカハサレンニ歸京セズ 三死セリ存生の間何三 云トイヘリ常人後ヨリ小ニンテ赤色ナリ 是ラ名テ人内雀下云俗ニアヤマツテミヤウナイ雀ト 水二止ル異島ナリ倒ニカ、ルが如し トナリ祭神ノ臺盤所三飛水り食物ラツイハミン女 モンテ今一度禁程ニカヘリ度思ハレン其霊化学を 俗說三日本朝了實方中將罪アリテ歌枕求

一色異り腹く毛の種三同シ帝ニ山林ニスンデ不地下 人
ヲ
見
テ
ヲ
ソ
ル 私色翼胸尾共二黄赤黑色形大體 古原心と 化了首

)獸類

已綱目野槍說日不發病減藥力與家槍不同又 少食八不發病世人食其味美學過多故損人而 日不發風虚氣炎食腸風風血之治人食醫心鏡日 不得孟統日脂令婦人多乳治於縣今按三縣唐 人持下血野猪肉二斤者五味多空腹食之作等 世俗往往以為性不良為不益人然今試二

熊熊雅 時珍云三種一類也如豕色黑者熊也大 即死、 題為赤熊陸機謂熙為黃熊是矣熙遇人則人立 熊性輕捷好攀緣上高水冬數人穴生惡鬼人之 是熊ナラン國俗熊ラ不知しテ奇怪と心鬼類と 即熙也倭俗三馬鬼上云牛鬼上云熊鬼上著皆 思人少熊掌科酒醋水三件同煮熟聖惠方項日 而禮之故俗呼為人能爾雅翼云龍高熊形如馬 而色黄白者器也小而色黄赤者魅也建不了 久不愈三野猪人肉ラ食シテ愈

個有 數 其角ヨク事ラケスウンカスの一番話ナリ軍

猫」ヨク鼠シ取ハ童ツチニチフル終日ウゴキアリク猫ハ 能力之此說孫氏筆精二出夕川今試几三然川猫八 法本編三記セン本華網目載之者可信補鬼八階 至テ不仁ナル歌ナリ北直良能則不可當〇科猫 本二八個鬼ナン船でタハ金花船一云月今廣義二出 晋三出タリ日本人大鬼地鬼ノ類能為人祟者也日

時珍日居沒山中野牛也狀及毛尾俱同樣

ファスロ公主者ニ

生態小而於大

ルヨリ 出ル 牛牻牛人毛異船三載水小赤熊黑熊三人儿八白熊 プ赤黒三次クルナリ白熊ハ不添毛ナリ陜既省了臨 時珍日毛雅白色ノ以西源紅色の東日産

四月 吕氏春秋日人君失道馬有生角○京房易 ボウトル 蕃船三載水ル牛乳ラ煉タルナリ峻補血気 角非旗飛而妖孽也吉事ニアラス不可為珍質然 乃國俗不知之是為**所端不**豫乎 傳日臣易上,政不順厥妖馬生海〇萬信日馬生

如聚微扁色紅〇今按三族東王亦此類ノ族ニアル 本草綱目王璽日在豬喉系下內團一杖大

物ナルベン

按三档孩上 外疑上相對ス 人前持人不得又來迎候我謂不決日猶豫〇今 朱子楚解註日猶大子也人將行大好家在

MA 又目孤多疑而善聽河水始合孤聽其下不 聞水聲乃敢過故人過河米者要須孤行然後敢 **澳因謂多疑者為孤疑**

承獨義終日瓜性善疑方河水合時孤聽水下水無

花猫三毛 湖 两个百月水上是三月不行湖上。 聞かり信濃諏訪ノ湖ニ冬水堅クナン八瓜先夜の 是ヲ見テ其後湖上ヲ行春水洋ル時本先渡ル人

疾来 びハイタラバガル也年ノ如ナル歌ノ胃ノ腑産 ハイタルボルコ 猪ノ腹中ニ生スル石ナリ 蜜語也 らべイタ 鐵語ナリ川太郎、事也其情樂三用五 スル石ノ玉也萬ノ毒ケン三月三其外功能多し 淮南子說狀如三歲小兒亦黑色赤目長耳

魔 字彙云在鬼能迷人者〇篇信云白樂天所謂 ムサッド 殿階ラ武法手掌ニスリテヤカテ手ノ甲ラ常ル三苦三 英聚左傳註疏, 題題川澤之神也〇萬信日此說 詩魔亦是武人而能做人云凡令人在者魔也 プ見レバ魍魎ハ河童ナルヘンクハンヤニアラス又入 スルラ治スル法右ノ本類三林草シ用ル車シ記ス 様ノ膽ナト似セ物ハ以苦ケレド久レク苦カラズ アルハ冥ナリスナメテ苦味久クロ中ニアルハ冥ナリ シラ魍魎トスル説でリ又河童上相撲よりラ病 本編三載タリ島関也リバラシキノ事ナリ

夫木三為兼御ノ歌春日山本ブカキ杉が相ヨリア タラチクルム升・ビノ野

郎親新ラ召テ是ヲ取ラレム親衛刀ヲスキ持テ願朝ノ時后濃國犀川三犀スム由ヲ聞給に東小夫 キ大力ナリ 水三八犀ヲ切コロス親衛ハ朝比奈三郎ニヒトン

青中華ヨリ日本三騎衛衛衛年衛ナドラワタス丁 是家ニカフ物ナリ六畜ノ外家ニカフ物ハ鳴鍋梅

滑雅類書日野干獸名形色青黃如狗群行夜鳴如

狼〇今按三是野犬ナルベン日本三多シを群行シテ 人ラ食フ既三本書三載タリ 其色黄赤好了食果都八形小黄黑尾比果鼠較小 于孤郡 出于潜在類書〇細目貂尾「名果鼠 製筆世所謂風暴寒尾者也〇篇后謂者雅類書 ナリ葢鼬之類の栗鼠許慎日似都而大 〇个按三一物不同而為一類要鼠八形大三尾大三 貂與果鼠異條可見非一物也一物上元八誤レリ 說文貂鼠屬也而大黃黑色鄉毛者也其皮煖 **潜確類書日果鼠養黑而小取其尾毫可以**

川鼠 形大抵 ウクロモチニグテ常ノ鼠ョリー品之尾 在南子日程程知在而不知來有確類書註日是程 ク事魚、ジェクハヤン常ニ水中岩ノ下岸ノ下ニスム ハ風ヨリ火短心四足短ク水カキアリ能水底ララヨ 亦是牛黄狗實之屬耳 子名日難為乃走獸腹中所產獨牛馬者最效恐 默持密咒將石子海渡玩弄如此良久朝有雨石 浸石子數於而已其大者若難如小者不等然後 知人姓字此知在也醉以擒身不知來也 報耕錄第四日蒙古人之傳南取淨水一盆

手ビナゴ 原魚魚 満四五寸ロハ海鰮ヨリ小也身ハイハンヨリ火厚シ 魚類 夜水中で水イデ小魚ラ喰フ此物西州三亦有之 尾三至ル銀色ノイン三又黑筋一條アル越越トスベン 然魚ノ類也自住所近シ江户ノ虎キスゴニ似タリ 贈三加禁シテ煉堅メタル物也魚ノ血トモ云 兩份三銀色ノ筋アリ其筋ノロサ三分許頭ョリ 霍凱腹痛牙齒痛三用二具邦ヨリ來生是八無 大名的最长上 お魚ナリ海鰮二似三向焼ナリ長三寸除不 キスコニモバエニモ似タリギスゴョリ小きな一般と

海人在海中其形全人人丁リ頭髮髮眉悉人具し 海館ノ牙太抵ヨコ三寸許長六七寸アり 具志日王隱交廣記日具後復置廣州以南陽縣修 海中 三シニアり半身以上八女人三子半身及 能言語發展了與一下王不食又一種遍身民皮下 上云者是歌鐵語三其名へインムレルト云 下八角身ナリ其骨下血シ止ル外藤ナリ世三人魚 り只手足ノ指水鳥ノ如ク相連ツテ水カキアリ不 東海取蝦鬚長四大四尺封以示修修乃服之 為刺史或語修蝦鬚長一大修不信其人後故王

天蠶絲 漁人魚シ動三用ル筋ナり出三テ作ルト云 地三上リ数日不死 リテ腰間三下リ垂為タルガかし其食い智人也陸

ラキメバル 長不過数でメバルニ似テ肥厚ナリ味メバル 異邦ヨリ來ル ヨリ矣し傍ノヒレ色純黒ニレテ長と大然をホアー目 テ其色異り〇ラキメバル「種アリ」種ハ其形を目じ リ黒キラキ目バルトハ異ナリ細鱗ナリ、大亦長事 ハメバルヨリハン又黒熊多手者アリ其形状ハ顔同シ 大ナル事を常く目バルノ如シ目の縁赤の背ノ色なけ

數寸三不過

クコゼ 長八九寸アリワカキハ色器シ老ダルハ紅ンド 腹ハ土スリノ如クニシテヒロシ ナン尾八社父魚三似タリ海魚ナリ所と三小イホアリ 高ク出ツ背高し背筋ミレアー其とシニハリナガマ 廣クレテスバルノ形ノ如レ又背ハ杜父魚三飲タリ自ハ り皆人ヲサス人ヲサセバ毒アリテクサル他所にハハリ

今子三年 本編不載形狀大抵不異于期以以失り マ小ナリ目高クツキ色淡褐紅色味亦頻歌鯛而

カク類スデニ本編三載タレモ 詳ナル事ラスコ、三記ス ナリ目コヒレ尾タイメニ同シ〇ウンマイノ色黒シの ジハモタマニ似タリ只有スギニ角ノ如上小物ニニアイ 白フカ〇カセフカ右五種何レモ甚大年也何モ人えた ラエイ形ヨコヒロン〇サエイ色赤黑右何しを味同シ ミナル味カロクヨレ〇カラスエイ是モ色黑心〇コン トビアイ子ツュ色龜ノ頭ノ如シ○鳥、エイ味赤エイ 人ラクラブフカハ油多シ不可食只油ラ煎シ取〇ツノ ○ラロカト云フカアり○一丁ト云フカアり○ウオメ○ スジタマイ。カイメニのタリカイメョリヒラタ大

湯ビキラと酢ミソニテサンタニレテ食ス肉白レ皮コ 放っ又スキノ升キトモ云味ハフカニ似テカロし生ニテモ 長、ココス扇クウスシ頭ハスキノサキニ似タリウスシ 頭ノ雨ガニ穴ニュアリ〇カイメト云魚コナノ形三似タリ こ、ふちっかいエワリ横廣しとキガへルノ形ノ如し〇 ツノコ其形オホセニ似タリ腹三角アり〇ツマリフカ ウゴク〇サッエワリ形ハオホセニ似タリ尾ニ角ナン〇 是モダマニカハレリツノジモキモニ油多シ煎じテ燈油 トス洋海ニアリへホウフカ色白シ〇ス子ブカ色白シ 〇才ホや尾ノキハニ角アり性ツョン切テモ其肉生テ 一大学会える

ヌメリコチ 水フキノ雨ワキ三針ニアリ〇ショチ色赤シ カハゴスク形如河触魚長サロョリ尾ラデハ寸五人がカ 延がハホンロハ服ノ下ニアリ頭廣ノ身ヨリ大ナリウ 頭ニイラナ有長四五寸アリ スン頭ノ兩ノ傍モヒレノ如心形モ色モコチニョク似タリ 城ナン右ノフタ/類歌品何·天味ハ相似タリ料理を同シ 頭ハコチョリ魔の大ニレテウスレ尾モコチノ如クニレテ 楊色有花紋花紋/色白シ腹ハ※白ニンテ花紋ア り目ヨリ尾サキニテ左右ニカド南故三背八平方其 形方地ロイドノビンキハニイキ出い左右ニアり遍身

角ナリ園八別三載タリ 後門ハ甚小也針ラヘルホドアリ是ス、メブクノ類果 骨ナン尾ノ三有肉尾ハ別物ラ以ツギテナメルカ如シ リロハナリ腹ノ内腸はクレテ空虚ナリスベテ肉ナ

神仙傳云介象與吳王論膽何者最美象日鯔魚為

上〇ボラトイナトノ膾尤ョレト也

般尾 有黑點當張口吹沙其味美故魚麗之詩稱馬 子魚之小者子魚一名鯔魚ボラ也ない 别是一種山野小魚也大如指校園而是是

滑コレセンリウローコハゼドンホガジカノ類也

油ハマ 形ハハエヨリマルク小鱸三似タリ長二三寸ウム コニスメリアリ油イロナリ味ョン油多ク常ノハエニ典 リ山川ラリス黒黙慮でニアル者有之是吹飲ナ

生魚八食シテ不泥滞消化シャスン煮モ炙ルモ皆ヨシ ルベン

鹽淹乾燥日久或為飲者皆消化レ難、レテ滞心管 卻テ泥滞スルガ如シ益生物ハ陽氣循残リテ化シマ 八八生地黄八大寒トイへ圧宜通シテ不泥熟地黄八

テ拘ハリ泥ベカラズ然レ圧無物生ラ好三熱ラ忌云 スク熟物八既三生氣ヲ失デ化シガタン生物ヲ良ン

大山村永大山

一十二

フナントギハ海魚也長二人許其形頭ョリ下八不帰 穴キスゴ 九キスコ漢名未詳以膾残魚キスコトス、カラス 促レリ様文二十三アリ様三連レリ其間三寸許背 シテ而圓シ頭ハ火偏シ竹ノ近首處多横文シテ而 ノ横文ラ以船板三付テ不難生ナルラ程上ニシケバ 非べ食物ノ性ヲ辨ズルニ此理ヲ知べし 既三本編三記セリ常ノキスゴヨリ甚大ナリ

形三似かり色モ亦似タリ八流人ノ白骨多分味不好 八海魚也長二尺許横セハクタテ長し馬鮫魚

取付テ難分

且有小毒非佳品

〇蟲類

樂園蟲柳蠹蟲共二綱目二出夕り 甲木ニョダレト云虫ツクハ蟻ノ子ナリョタレッケバ若葉

損ズ早クトリ去べい

食之, 產子于水中為子子蟲仍變為效必是人蝙蝠能

子了り能透衣人人肌膚成磨人極苦惟搗椒根 葉傳之則瘥此說本編不載又黃蠅有毒齒人成 本草綱目四十一、蚊子ノ火ラアリ其註三浮塵

蜜蜂ノ巣少ツ、銅銅三入水ヲ巣ノヒタルホト入火ヲ ズロ切桶ノ水ヲレバくカヱテョン水スルクナレバ戦カ タマリカタン アツメテ統三人湯センスレバ戦「ニカタレル巣ラ再放 唐勿撥以令水沃之擦.題少許即愈 · 凡蚊n等 レタル巣ヲ水ニコン人ンバ戦トナリカタンリアラ後ニ 其時口切桶:水七八分入置馬尾囊:テ右ノ煎 少ツ、タクニエテ後半ヲ箸ニテカキレ ズレバトクル ノサンタルニ佛甲草ラモンデ付レバ其毒忽散ス

海清馬" 八門云背九七川如竹節紋長二三寸色黄

潛確類書 壞一名 齒桑似天牛體有白點嘉齒桑作 孔八其中又名露髮天牛ノ類ニテ別ナリ 楊ナリンヤコト云説アリシャコニハアラズ別也此物ナ ラハラジリテ有之 磨アル人不可食又發養亦性不良食べかえ猫 タルラモ食了有小毒母婦不可食時胎產婦及金 クラヘバ不産字 和名 アミ泥海ニ生ズ生ナルジナン物トス英

〇介類

城ノ類ナリョメノサラニタテル大ニシテ渡シ味

以形名是片貝乎 モノトス海岸三附生又其大七八分城八本書三載夕 ヨン娘ノ如クフタナン故三片見上云其肉モ亦勉三似 リ又福州府志田老蜂牙似城而味厚して名牛蹄 タリ見ノ色内外黒シ味ヨン頗佳品ナリ毒ナシナン

尾張ノ産と具珠ハ諸貝ノ珠也伊勢ノ産ハアハビナリ 最ヨン可用 常人產物非性品其性毛亦不好不可食 キ、テハンリ出ル白キカニナリ (篤信謂凡如此非 仙覧力萬葉ノ註三云海邊二人馬ナドノ音ラ

島村蟹八 本草綱目蛤蜊粉異名海蛤時珍日海粉首海中諸 哈之粉以别 江湖之蛤粉蛛粉也今人指稱但曰 雲細川右京太夫騎元上於攝律合戰之於尼崎 海粉蛤粉冠氏所謂象蛤之灰是矣 云怒に人面ろうこ一説細川高國力臣上云八誤ナル クリ野里川ト云所ナリ其霊鰻ト成シトテ島村盤ト 兵兩人了左右ノ脇ニハサミ水ニ人子共三死又尼崎、マ 打負自殺浦上が臣島村彈正左衛門貴則敵人強 ト云此蟹ハモロコンと書ラセタリ鬼蟹ト云然ルラ近 鬼蟹也亨禄四年備前人補上掃部助村

アノロセルメイル

解ノ面鬼ノ如し 世ノ俗人アヤマリテ人ノ靈魂トス鬼蟹ハ青ヨリアリ

公門三上甲散下甲散トテ禁方アノ日上甲八即亀甲

下甲八郎龜枝

郷粉焼粉ラ用テ壁ラヌルコト本草綱目三見エタリ日 本ニテモ亦然リス小池蓮池ラモヌル石灰モヨン

龜ノ尿シ取法本草ニ日紙燭シ次龜ノ尻ニ點スレバ

出上云り特珍日龜尿ヲ以墨ヲスリ石三書ス能入 尿出や、ラソン猪ノ毛又ハ松葉ニテ鼻ラサセバ尿

コト敷分ト云日本三テ青佛經习石ニカキ其文字

久しく不脱モ此法ナリト云今モ其石アリ 亦言有毒然心戶人村民多食之 房數倍五六月有之名日黃蠣月令廣義三出夕川 又一種生海中大如杯日草鞋礪又一種大媽 人門日形如斯馬刀有毒多食發疾本草三

淡菜 異物名記日內柱層寸美如班玉即江瑶也如韩 タイラギニ似タリタイラギハ只肉デー柱耳 而稍大中肉腥而腿朝不中口懂四肉牙佳耳是 臨海異物志日玉珠厥甲美如珠玉〇晉南 八海水波處三アリ番婦カツキテ取煮テ食シ

人口大学人工

或煮テ雕トス又糟ニツケ魏三藏ムルハ生肉シ用ユ 是井ガイナリ氏三本編二記ス

海介ノ類夏月其て、ラケハ不壊モレ水ニ浸レラケバ 早クアガレテ不可食海魚モ同シ

引娘ハノンナリ朝鮮人モ如此書ス日本ノ俗ノンラ

熨斗地上書八非也熨けハ器ノ名火ノン也〇地ノ

類酷ノ法 地ノ端上藏腸トラ去肉トキョキ腸トツ

「云處ハ可用肉ハウスク切腸」合也百多三鹽十五

る暑月八鹽二十本麴二十本ヲ和シテ 虚三人ロラ

封ス十日ラ歴テ味住心歴久益好又諸魚ノ肉モ如

此法一了可也娛嫌最美之

紫貝 海底波處ニアリ放取之難シニアル取之長ニ

寸餘間二寸許殼淡紫褐色内八黑之肉内ニニテ り味甚美之啖之軽軟ナリか中之住口より中華

八諸州三草木魚鳥介蟲土石等ノ異子の各處三多シ 不可窮知

書三テ未見之

〇水火類 并土石類

黒泉水 在灣旬州有大毒候飲之立死〇毒泉水

在雲南邊方者有大毒飲之人畜並死使物本

大市村最美山

東不流者飲之有害博物志山居之民多要腫疾由 于飲泉之不流者

焦氏筆乗日木玄虛海賦陰火潛然初不知其說後

見嶺南異物志海中水遇陰晦波如然火滿海以

物學之迸散如星火有月即不復見意玄虚損此

ユル光ノ如シ不知人ハ物怪カト疑フ月夜三光ナン 耳○今按三海潮ラ夜ワタレバ其足ノ動力ス處火くモ

是カチテ知べい

本草三海水ラ煮浴スレハ風瘙癖ヲ去ト云リ○海水 ラ煮テ浴スルニ水ヲ半分加フベン水ラ不加性ツョク

シテ病人ニ害アリ

日本紀天智天皇七年越國獻燃土與燃水〇个按三

モエル土ハ近江ノ老をノスクモノ類。モエル水ハクサウツ

ノ事ナルベン

代龍肝 省肝ラルニかへテ電ラスル令婦孝是後漢

書ノ註二出タリ茲マンナヒナリカマドノヒタヒノ久シク

治綱目三載タリ伏龍八龍神ノ名ナリ

ヤケタル黄土ナリスリクタキテ水飛シテ用ユ其主

時珍云乃海中浮石也

時珍云後世寒食禁火乃季春改火遺意ナリ

17 大学工作的

○蒸頻

停滞レテ属病烈日ニホレョクカハキテ服スへン若雨 天ナラバ紙ラへダテく火アフルベン火ラミ必薬アラバ 樹ニテ丸ン電ニテ丸ンタル葉木丸不可服服之

附子中華ョリ來ル八皆鹽氣アリ是小便三日夕七八不可也 カスベン此製法最ヨン既三本書三見パナイ人に他 去り皮臍ラ去テ四ニワリ甘草ノ濃汁ニテ煮カハ 用ベカラス李中梓が説ノ如ク熱湯ニッケ鹽気ラ ルナリト唐人云リ然レバ日本ニテ製スレニ童便ラ

本事方日黄松節即茯神中心ノ水也 即補湯法藥一人以上至一人半為一服新汲清水 就三、サレル放又コ、二記ス 四盏ヲ用テ煎ジテ一盛半トシ三度三服ス率ハス 用汁和勢赤小豆杏仁同和作飲麻葉或枯葉包 レ滓ハスツベン久レク熱人レハ薬カナン ツベレー盛ノ水五十人餘アル盛ラ可用利湯八葉 「水半ラ」服トレ水「盗半ラ用テ煎ごテ」選上 特珍云蒼耳葉汁 各三升赤小豆粉 杏仁泥净三 青蒿葉汁 白新市 蓼葉汁以

